



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和2年11月27日

第10号



「成長したことは、グループの人が動物をまだ見たい時に、待てたことです。」

校長 神田 敏之

これは、3年生の子どもが金沢動物園へ遠足に行ったときのふりかえりに書いた言葉です。出発前に子どもたちへ話をしました。その中でだれかがグループからはぐれてしまうのは、まだこの動物を見たいなと思って見ているのに、他の人たちが先に行ってしまうことがあるからです、だから、「あと1分見させて」と自分から言うことも大切だとも話しました。自分も周りの人も満足できることを「WIN-WIN (ウィンウィン)」と言いますと伝えました。これは7つの習慣の中の第4の習慣に当たります。次のようなふりかえりからも充実したグループ活動だったことがうかがえます。

- ・最初は班長だけでみんなを引っ張っていくと置いていたけれど、グループのみんなが協力してくれて、みんなで助け合っているいいことだなと思いました。
- ・私は時計を見るリーダーを頑張りました。時計があったからご飯を食べる時間もすぐ見られたのだと思い、これからも時計を見てみんなに知らせて役立ちたいと思いました。
- ・校長先生が「自分だけではなく、グループのみんなが満足できるようにしましょう」と言っていて、最初は本当にできるのかと半信半疑だったけれど、グループの助け合いで校長先生の言っていたことが達成できました。
- ・一番印象に残ったのは、グループでいろいろな人にあいさつしながら動物園を回ったことです。あいさつをしたら心がすっきりしました。グループのみんなが今までよりも、仲良くなったと思います。

朝会でもこの「WIN-WIN (ウィンウィン)」の話をしました。休み時間や放課後の遊びを決めるとき決め方や、遊びの中の独自ルールを作るときなどに生かせると思います。

12月は人権週間があります。新型ウィルス感染症に関して、医療に従事している方や感染症にかかった方への差別が話題になっています。校長講話では、このことに関連し、「だれもが安心して豊かにすごせる学校」にするためにどうすればよいか考えるきっかけにしたいと思います。どこでも、だれもが「WIN-WIN (ウィンウィン)」の関係を築けるようにすることが誰もを大切にする社会につながると 생각합니다。14日の朝会で子どもへ話した後に、その話を家の人に伝えるということを課題にしますので、ぜひ子どもの話に耳を傾けてください。